

# 公益財団法人全国法人会総連合会長賞

## 熊本西税務署長賞

### 図書館から税を考える

熊本市立白川中学校 一年 上 野 楽 雅

ぼくは、図書館が大好きだ。毎日、少しでもひまがあれば、図書館に行くほど大好きだ。図書館には数え切れないほどの本がある。色あざやかな絵本、大きくて分厚いずっしりとした図鑑、ぼくの大好きなマンガなどがいっぱいあり、ぼくにとっては宝箱のようだ。

そして図書館の魅力と言えば、どの本も無料で貸してもらえるということだ。ぼくのお気に入りの世界甲虫大図鑑は、税込みで七千二百二十円もする高価な図鑑で、自分のおこづかいではなかなか手が届かない。しかし図書館に行けば、無料で借りることができ、家で心おきなくゆっくりと甲虫をめることができるのだ。図書館の無料貸し出しシステムとは、なんとすばらしいことか。

しかし、なぜ無料で本を借りることが可能なのだろうか？ どうやってこんなにたくさんの本を購入することができるのか？ このたくさんの本を所蔵する図書館の建設費や図書館で働く人たちへの給料はどこから出ているのだろうか？ 考えれば考えるほど、無料で貸し出すなんて至難の技だ。

そこで調べてみると、「税金」に行き着いた。どうやら、このカラクリは税金が関係しているようだ。

図書館だけでなく、ぼくたちが通っている学校や、いこいの場である公園、毎日使用している道路などの公共施設にも税金が使われている。その他にも、ゴミ収集、消防署の救急活動、警察の防犯活動、病院代などの公共サービスにも税金が使われている。

要するに、税金は、多くの人の生活や安全のために必要な施設やサービスのために使われており、道路を造る、水道を整備するなどの一人ではできないけれど、みんなの力を合わせればできるようなことをしている。人々の安全で快適な生活のために税金は使われているのだ。一人一人が使い道をきちんと理解してみんながきちんと税金を納めればこそ、安全で快適な生活が維持されていくのだ。互助の精神が公共の礎にある。

国税庁の国の一般会計歳出額のグラフを見てみると、社会保障関係費が一番多い。社会保障関係費が、急速な少子高齢化により、年々増加しており、社会保障の給付と負担が経済の伸びを上回って増大すると現制度が破たんしてしまう。時代の変化に伴って、税金の使い方や制度を変化させて行く必要がある。理想と現実がかけ離れてしまわないように、制度の構造改革が必要となるであろう。依存しすぎず、見捨てることなく、平和で安全な社会を維持するために、税金が使われて欲しいと思う。

税金を納めれば、幸せになれると思えるような税制改革をして行って欲しい。

# 公益社団法人熊本法人会長賞

## すぐそこにある税

熊本市立白川中学校 二年 土屋 絵那 乃

私は最近まで、学校に机やいすがあることについてなにかを考えたことはなかった。でも、税について勉強をしてから見ると、教室にあるほとんどのものはもともと税金だったということがわかる。

多くの人が税金には悪いイメージを持っていると思う。その人たちは全員どこかで税に助けられているのにも関わらず悪いイメージを持っている。それは自分が税に助けられていることを実感できていないからではないかと思う。確かに、道路を歩いているとき「この道路は税金で整備されました」と看板が立っているわけではない。私も日々使う教科書に税金が使われたことが明記してあったり、税について学ぶ機会を持てたりしなければ身近な税に気づかずに生活していたのだろうと思う。

でも、税を払うのが嫌だからと誰かひとりでも税を払うのをやめると、その分を税を払っている人全員で補わなければいけなくなる。そんな人がたくさんいると補うために仕方無く税率を上げるしかなくなる。するとまた払うのが嫌だなと思う人が増える……と悪循環になってしまうのではないかと思う。

ただ、私たちは熊本地震のたくさんの方の被害を税金で元の状態に戻してもらった経験がある。私も、断水でずっと出なかった水が家の蛇口から出たときはとても嬉しかった。そのときに水道を復旧するために使った税金は自分たちが払ったものや遠くの親せきが払ったもの、全く知らない誰かの払ったもので支えられている。少なくとも、熊本地震で税に助けられた私たちは「税を納める」のではなく「借りた税を返す」ような気持ちで税金を納めることができると思う。それに、自然災害のニュースなどを最近よく聞く。そのときに自分がそこに行って直接助けることはできなくても、税金をきちんと納めていけば間接的でも人々を支えることができると思う。

今私は、大人に比べたら少ししか税金を納めていないのに、とても高額な税金を使ってもらえるおかげで勉強する場所も道具も整えられた環境で勉強をすることができる。熊本地震でも自分では直せないものを税金で直してもらった。普通に送っている生活もどこかで税によって支えられている。今年だけでも数十兆円も返済しなければいけない借金を抱えている日本で、私たちのためにたくさんのお金を使ってもらえたことを大人になっても忘れないようにしたい。そして、今納めている税からお礼の気持ちを持って納めていこうと思う。

公益社団法人熊本法人会会長賞

熊本市立出水小学校6年

平原 采実

税金は 姿を変えて 暮らしの中に

公益社団法人熊本法人会会長賞

公益社団法人熊本法人会会長賞



熊本市立白川中学校2年

古川 天菜

熊本市立城北小学校3年

上野 光琉